

令和5年度 学校支援課不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上（法令の遵守（高い倫理観の保持及びわいせつ事案をはじめとする不祥事の根絶）、服務規律の徹底） 【必須】	職員の意識啓発等を行うことで、公務の内外を問わず、不祥事を未然に防止する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全職員を対象とした職場研修を実施した。（令和6年2～3月） ○ わいせつ事案の防止を目的として、不祥事防止職員啓発・点検資料「わいせつ・セクハラ行為の防止」を活用し、研修を実施した。 ○ 全職員が、「神奈川県職員行動指針」に基づき、公務員としての自覚を持った行動を心がけた。 ○ 職員として、公務内外において、常に高い倫理観を持ち、自身の行動を律し、不祥事（わいせつ事案等）を未然に防止した。
職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止【必須】	職員の意識啓発等を行うことで、ハラスメントの発生を未然に防止する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全職員を対象とした職場研修を実施した。（令和6年2～3月） ○ 日常的な言葉遣いや行動に、ハラスメントにあたる内容がないかどうか、日頃から課員が相互に点検し、ハラスメントを未然に防止した。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報保護の徹底のため、職員の意識啓発を図り、情報の管理方法を再度確認し、情報の紛失、漏えい等を未然に防止する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全職員を対象とした職場研修を実施した。（令和6年2～3月） ○ 個人情報の適切な取扱いについて、職員に周知徹底を図った。 ○ 外部記憶媒体の使用方法等の徹底を図った。 ○ 退庁時や離席時のパソコン、書類の取扱いや印刷した文書の取扱いなど、セキュリティ意識を高め、適切な情報管理を行った。 ○ メールや文書の送付には、複数人でのチェックを徹底した。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	職員の意識啓発等を行うことで、交通事故の発生や酒酔い、酒気帯び運転を未然に防止するとともに、交通法規を遵守する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全職員を対象とした職場研修を実施した。（令和6年2～3月） ○ 全員が、「神奈川県職員行動指針」に基づき、日頃から公務員としての自覚を持った行動を心がけた。

業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	チェック体制を確立し、適正な業務執行を図る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全職員を対象とした職場研修を実施した。（令和6年2～3月） ○ 業務執行の複数チェックを行い、チェックしたことがわかるよう徹底した。 ○ 担当者は、根拠及びバックデータを確認し事務処理を行った。 ○ 決裁時、決裁者（押印者）は必ず疑問点を解決した上、内容の適正さを確認した。
財務事務等の適正執行	財務規則等を遵守し、チェック体制を確立し、計画的な執行の徹底を図る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全職員を対象とした職場研修を実施した。（令和6年2～3月） ○ 進行管理、執行管理を複数でチェックし、計画的な執行を徹底した。 ○ 厳密な履行確認を徹底した。 ○ 事業担当、経理担当の連携を徹底する。
明るく風通しの良い職場づくり	明るく風通しの良い職場づくりに取り組むことで、事務ミス等の防止を図る	<ul style="list-style-type: none"> ○ 課長、副課長、グループリーダーによる打合せを定期的に行い、業務の進捗状況等の確認や情報共有を行った。 ○ グループ内の意思疎通を円滑にするとともに、グループ員全員が課題を共有できるよう、各グループにおいて、毎朝夕、打合せを行った。 ○ グループリーダーは、「報告、連絡、相談」について、朝夕の打合せ等を活用し、職員に徹底を図った。 ○ グループリーダーは、グループ員が発言しやすい雰囲気づくりに努めた。

○ 令和5年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和6年度に取り組むべき課題
(所属長意見)

令和5年度においては、各種取組により不祥事ゼロプログラムの目標を達成し、不祥事防止に資することができた。

令和6年度においても、不祥事防止に向けた各種取組を引き続き実施する。